



NPO PTPL “ともいき” 便り No.38

■霜降（そうこう） （2013年10月23日発行）

10月23日から11月6日まで、霜降の節気です。寒さが次第に強まり、冷気で露が凍って薄い霜が降りるころです。秋の終わりを惜しむように、野山は紅葉で美しくよそおい、動物たちは、冬ごもりに備えて忙しくなります。

それを裏付けるように、紅葉前線も日本列島を彩り始め、北海道から東北へと初冠雪の便りが届きだし、今年、世界文化遺産に登録された「富士山」にも初冠雪10月19日、発表されました。確実に季節は秋から冬に移っていることを感じます。

今年の10月は、台風がツイッターなどではキーワードになっているそうです。10月15日から17日にかけて、北陸・東海から北海道の広範囲で台風26号が猛威をふるい、特に伊豆大島では甚大な被害があり、多くの方が亡くなり、未だに多くの行方不明者がおられます。本当に自然の恐ろしさを痛感します。お亡くなりになった方々には謹んで哀悼の意を表したいと思います。そこに、今度は26号よりも勢力が大きいと言われる台風27号が10月25日以降、26号と同じコースをたどるように再度、日本列島に、さらに、28号が発生し、ダブル台風の様相を呈しながら接近中です。台風といえども自然と対立するのではなく、自然と調和するような知恵と経験を活かした対応が今、求められるのではないのでしょうか？

今、facebook「ともいきぐらし(<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)」では、日常の生活の中の身近な出来事や季節にまつわるコメントを紹介しています。その中に「都心のポケットパーク」というメニューがあります。自治体が運営する公営公園ではなく、企業の大規模開発によって生じる公開空地が、近くのサラリーマンや来街者にちょっとした憩いの場を提供しています。これらのポケットパークもこれから冬までの間、秋の彩りを楽しませてくれていま

す。このようなポケットパークをご存じでしたら、ぜひ、お知らせ下さい。情報をお待ちしています。

10月20日から11月6日は冬の土用の期間です。そして翌日10月7日は「立冬」です。この冬の土用の期間中に季節は秋から冬の準備に移行していきます。さて、今年の冬は暖冬なのか、それとも厳しい寒さが到来するのか、今年は酷暑だっただけに、なぜか気になってしまいます。

文：佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

「節目」

われわれの祖先は「節目」・「節目」をととても大切にしてきました。

一年の節目、季節の節目だけでなく、年齢に応じた人生の節目も大切にしてきました。子どもが成長して大人になるための通過儀礼としての“七五三や”“十三参り”“成人式”などです。

また長寿を祝い年長者に敬意を表する意味で“還暦”や“古稀”の祝いも行ってきました。これらの節目が、生活に変化と潤いと和ごみを与えてきたのです。さまざまな“しきたり”、“ならわし”が忘れられてゆく中で、そこに込められた意味をもう一度確認し、日本人が長い歴史の中で培ってきた生活の知恵、豊かな生活観・人生観を見直したいものです。

<通過儀礼>・・・(帯祝い・お七夜・お宮参り・お食い初め・初節句・初誕生)

● 七五三

『ともいき暦』の表紙、11月15日をクリックしてください。

● 十三参り

京都、嵯峨の法輪寺に古くから伝わる有名な行事。旧暦3月13日（現在では4月13日、またはその前後に行われる所もあります）に、13歳になる少年少女が盛装し、福德・知恵などを授かるため参詣します。

法輪寺の本尊、虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）は知恵授けの仏様として古くから知られています。現在では3月から5月にかけてお参りが行われています。

この十三参りは、いまではほとんど見られなくなってきましたが、子どもに

計り知れない知恵と福德を授けてもらう目的で江戸時代は盛んに行われていました。なくなって欲しくない行事です。

- 成人式

『ともいき暦』の表紙、1月13日（成人の日）をクリックしてください。

<長寿の祝い>

- 還暦（かんれき）

長寿を祝う風習は、奈良時代頃からあって、室町時代にはすっかり定着しました。

60干支の循環による吉年です。（数え年61歳の長寿の祝い）自分の生まれた年は61年目に元に戻り、生年と同じ干支に戻ります。この満60歳を祝う風習を還暦といっています。（本卦還り（ほんけがえり）ともいわれています）

昔は人の寿命は短く60歳を迎えることは稀で、非常におめでたいこととされました。赤い袖なしのちゃんちゃんこ、赤い頭巾を着せてもらって、子どもや孫からお祝いの言葉を受ける風習です。

寿命が長くなるに従って賀寿（長寿の祝い）にも変化が見られます。

- 古稀（こき）

数え年70歳の長寿の祝い。唐の詩人、杜甫の有名な一節「人生七十古来稀」によって名付けられました。

祝い方は時代、地方により、また各家庭それぞれで定まった形式は見られません。

- 喜寿（きじゅ）

数え年77歳の長寿の祝い。草書体で「喜」の字が七十七と読めるところから、77歳またはその祝いをいうようになりました。

扇子に「喜」に字を書いて配る風習もあります。

- 傘寿（さんじゅ）

数え年で80歳の長寿の祝い。傘の略字が「傘」と八十に似ているところから、80歳またはその祝いをいうようになりました。

- 半寿（はんじゅ）

数え年81歳の長寿の祝い。八十一を組み合わせると「半」となるところか

ら、81歳またはその祝いをいうようになりました。

● 米寿（べいじゅ）

数え年88歳の長寿の祝い。「米」の字を分解すると八十八となることから、88歳またはその祝いをいうようになりました。

● 卒寿（そつじゅ）

数え年90歳の長寿の祝い。「卒」の略字が「卒」と九十に見えることから、90歳またはその祝いをいうようになりました。

● 白寿（はくじゅ）

数え年99歳の長寿の祝い。「百」の字の上部の「一」を除くと「白」の字になるところから、99歳またはその祝いをいうようになりました。

● 上寿（じょうじゅ）

数え年100歳の長寿の祝い。（百賀とも言います）もともと上寿は、人の寿命の長いことを指し、長寿を三段階の上・中・下に分けたうちの最も上位、すなわち百歳をいいます。（120歳をいう場合もあります）
ちなみに下寿は60歳（80歳とも）、中寿は80歳（100歳とも）の長寿の祝いをいいます。

勝田 祥三（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長）

■ 事務局だより

● 10月に立て続けに台風が日本列島に接近するのは、ここ数年あまり経験した記憶がありません。この便りが届く頃には台風27号と28号がまさに日本に到達しているかもしれません。対象地域のみなさんにおかれましては、くれぐれも備えを万全にして、冷静な対応をしていただきたいと思います。

● 中国の大気汚染が深刻な状況になっているようです。10月21日のニュース報道では、計測不能な地域もあるようです。いま、日中関係は冷えていますが、公害を経験し、克服した日本の技術を活かす時ではないでしょうか。それが、新たな日中関係の構築につながると思います。まさに“ともいき”の考え方です。

● “ともいき暦”に少しずつではありますが、「年中行事・記念日・祭り」の解説に映像が加わっています。ぜひ、ご覧ください。

映像は5月17日：浅草三社祭 8月31日：浅草サンバカーニバル

9月8日：目黒さんま祭り 9月22日 泣き相撲

10月14日：体育の日などです。

もっと、映像を取り込み充実させていきたいので、みなさんご自身やお知り合いの方で“説明コメントと動画”を投稿いただける方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

● NPO PTPL 会員（法人・個人）を常時、募集しています。ぜひ、お知り合いの方や企業・団体をご紹介ください。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-6 第2井上ビル3階

電話：電話：03-6277-7458 FAX：03-6277-7459

Email：info@plantatree.gr.jp